

THE FRONTIER TIMES Report ①

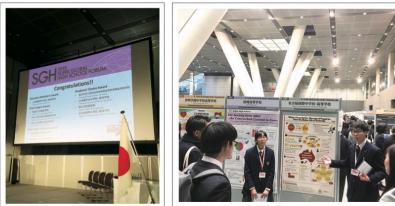
SGH全国高校生フォーラムで、国際生が「生徒投票賞」を受賞しました。

充実したプログラムで国際力をブラッシュアップし続ける本校の生徒たち。国際理解研修(オーストラリア)を活かし、高校生ならではの視点で実生活に応用できる考えに焦点をあて研究発表を発表しました。

去る12月15日に開催された「SGH全国高校生フォーラム」(主催:文部科学省、於:東京国際フォーラム)で、本校の鬼頭英都くん、平尾唯さん(共に高校2年)が発表し、見事に「生徒投票賞」を受賞しました。表彰を受けたのは、全国から集まった145校中10校だけという名誉ある結果でした。



▲SGH全国高校生フォーラムで「生徒投票賞」を受賞しました



機が自己的探究心に基づいていることが大きく評価されます。フォーラムの評議委員から「調べたことが、私たちの実生活に応用できるところまで考えられていてことが素晴らしい」「深く掘り下しているのに、内容を焦点化しているところがよい」との講評をいただきました。それを踏

スーパーグローバルハイスクール(SGH)とは

2014年度から実施された国際的に活躍できる人材育成を重点的に使う高等学校を文部科学省が指定する制度。高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、やって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としている。■

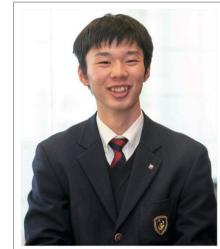
Feature

国際社会での活躍を夢みて スーパーグローバル大学に進学



▲名古屋国際でのさまざまな体験が、進路選択につながっていると振り返る生徒たち

多彩な国際教育プログラムのもとで世界に目を向ける生徒が増加



▲綾瀬響七君(関西学院大学経済政策学部に進学)

スーパーグローバルハイスクール(SGH)・アソシエイト校に指定されている本校には、正課内外で国際感覚を磨くさまざまな機会があり、生徒たちはそれぞれの体験を進路選択につなげています。

関西学院大学総合政策学部に進学する綾瀬響七君(高一貴コース)は、国際ボランティア活動でフィリピンの貧困を目の当たりにしたことが、進路決定のきっかけになったと振り返ります。「貧困に苦しむ世界の子どもたちを救いたいという目標が生まれ、実現に向けて模擬国連活動にも挑戦しました」と綾瀬君。高3の夏には元国連事務次長の明石康氏が塾長を務める「関西学院世界市民明石塾」に参加。その「実績」が受験資格になるグローバル入試制度を利用して、夢への第一歩を踏み出しました。「国際社会の諸問題について学ぶプログラムが充実し、実際に国際連合機関で働いていた教授も多いので、授業の解題に自分がどのように関われるのかを真剣に学びたいです」と大学での学びに輝かせます。

高い国際理解研修で日本と世界の文化を比較した経験が、進路選択に進路選択につながったと話すのは伊藤さよりさん(国際教養科)。国際機関で働くくつむきが芽生え、学部の枠を超えてきました。

人材の育成に力を注ぐ関西学院大学法医学部に進学先に選択しました。入試課題の論文では、国際理解研修での研究テーマを発展させたジエンダー論をまとめ、「新しい知識や自分とは異なる意見に出会うことで、視野が広がりました」と笑顔。大学では社会システムや法律の視点から女性の権利について学びを深めます。

翻訳学科を目指して上智大学文学部英文学科に進学する成田恵さん(国際教養科)も、「文学を中心に、映画、音楽、舞踊など、さまざまな分野を通して海外の文化を学ぶことに魅惑を感じました」と明確な志望理由を語ります。入試課題の英米文書レポートでは、愛読書のリーポーターを「研究材料」として分析。「書籍との新しい関わり方を知るとも新鮮な体験でした」と語ります。成田さんは合格した指定校推薦枠は、本校がSGHアソシエイト校になってから設置



▲伊藤さよりさん(関西学院大学法医学部に進学)

されたもので、伊藤さんが利用した「スーパーグローバルハイスクール対象公募推薦入試試験」も、SGH校・アソシエイト校の生徒を対象にした入試方式。国際教育プログラムの拡充とともに、生徒たちの進路目標をサポートする充実した環境も整ってきました。■

多彩な国際教育プログラムのもとで、グローバル社会を生きる価値観や行動の基礎を身につけている本校の生徒たち。卒業後の進路に、教育環境の国際化を推進するスーパーグローバル大学(SGU)を選択する生徒も増えています。

SGU進学は「目的」ではなく「結果」

本校が2015年度に導入した、世界水準の教育プログラム「国際バカラエージュ(IB)ディプロマプログラム」の受講生の中にも、進学先にスーパーグローバル大学を選んだ生徒がいます。

立教大学に進学する岸田圭剛君(中高一貫コース)もその一人です。岸田君は小学校卒業から4年間をチエコで過ごしたくさんの国を訪れる経験を経験。高2で編入した時に、日本とヨーロッパの違いを以前より強く感じたことで、異文化理解や国際協調への関心が高まつたと言います。「進路選択で“袖足”を置いたのは、海外生活やIBで磨かれた英語力と感性を生かすことができるところ。複数の選択の中でも、立教大学の異文化コミュニケーション学部が、希望する学びに合致すると感じ進学を決めました。AO型の国際入試の選抜基準は、書



▲成田恵さん(上智大学文学部に進学)

IBで培ったスキルを生かせることも大きな決め手になりました」と笑顔を見せます。約20分の構造化動画を見てレポートを提出し、試験当日にプレゼンテーション発表を行うAO型推薦入試でも、発言しない授業はないというIBの経験がとても役立ったと振り返る川西さんは、「将来はIBの教員資格を取得したい」と目を輝かせます。

「彼らが進学する大学はSGUに指定されていますが、決してTSGUだから進学するのではなく、自分が学びたいことを追求した結果、教育研究の国際化やグローバル人材の育成に積極的な大学。学部にこだわらずにいるのだと思います。大学でも自分の力を信じて、それぞの夢を追い続けてほしい」と語るのは進路指導主任の杉尾志帆先生。「将来について考え、世界に目を向けるきっかけがたくさんありました」と振り返る5人の言葉に象徴されないように、「眞の国際人」の育成を目指す国際教育のもので、逞しく進路を切り拓いていく生徒が増えています。■



▲川西美妃さん(東洋大学国際学部に進学)

下を切り捨てた自然数をその2人の「相性度」と定義します。この定義は太田さんが独創と考え出したのですが、この相性度についての概念質として整数論に深く踏み込んで考察したことなどを何点か挙げ、また相性度100という複雑な場合の確率について分析結果を述べました。例えば、任意の6文字以上の2人を選んだ場合、相性度が100になるのは16通りのみで、確率は 1.37×10^{-7} というとても低い値です。そして最後に相



▲太田彩香さん(普通科2年)

太田彩香さんの発表内容は「相性度」人の名前の読みを、1段は1、2段は2、3段は3、4段は4、5段は5として数字を並べた自然数に対応させます。そしてある2人の名前の自然数の和を2で割り続けていくとなる段階で、50通りで100以下になるわけですが、その値の小数点以

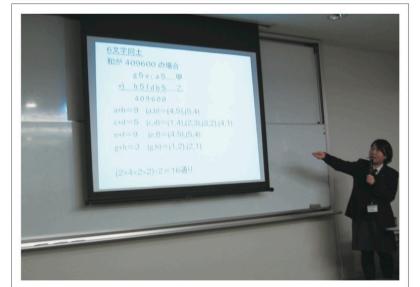


下を切り捨てた自然数をその2人の「相性度」と定義します。この定義は太田さんが独創と考え出したのですが、この相性度についての概念質として整数論に深く踏み込んで考察したことなどを何点か挙げ、また相性度100という複雑な場合の確率について分析結果を述べました。例えば、任意の6文字以上の2人を選んだ場合、相性度が100になるのは16通りのみで、確率は 1.37×10^{-7} というとても低い値です。そして最後に相

性度100となる2人の名前の例を挙げました。

ジャズピアニストであり数学教育者でもある島中島さち子先生から、このような自由研究こそ高く評価されるものであり、発想が大変興味深く展望も高いという強いお褒めのお言葉を頂きました。

太田さんの活躍により、名古屋国際は次世代の数学研究に寄与する継続的な貢献への第1歩をいよいよ踏み出したと云えるでしょう。■



▲マスフォーラム(学生徒研究交流会)で発表する太田さん

THE FRONTIER TIMES Report ②

マスフォーラム(数学生徒研究交流会)で研究発表

本校国際コンテストクラブが大活躍。名古屋国際は次世代の数学研究に寄与する継続的な第一歩をいよいよ踏み出しました。

2

018年12月22日(土)横浜サイエンスフローティング高等学校にて、「マスフォーラム(数学生徒研究交流会)」が開催されました。本校の国際コンテストクラブの部員である普通科2年生の大田彩香さんが参加し、研究発表を行いました。

マスフォーラムは、数学に関する研究発表を通して数学の興味・関心をさらに高め、次世代の数学研究者のネットワークを広げ将来的な数学研究に寄与することを目的としています。数学に関するこのような大会としては、関西での「マスフェス」と並ぶ二本柱の一つ、シンガポール国立大学高等部との交流もある国際的な大会です。



下を切り捨てた自然数をその2人の「相性度」と定義します。この定義は太田さんが独創と考え出したのですが、この相性度についての概念質として整数論に深く踏み込んで考察したことなどを何点か挙げ、また相性度100という複雑な場合の確率について分析結果を述べました。例えば、任意の6文字以上の2人を選んだ場合、相性度が100になるのは16通りのみで、確率は 1.37×10^{-7} というとても低い値です。そして最後に相

性度100となる2人の名前の例を挙げました。

ジャズピアニストであり数学教育者でもある島中島さち子先生から、このような自由研究こそ高く評価されるものであり、発想が大変興味深く展望も高いという強いお褒めのお言葉を頂きました。

太田さんの活躍により、名古屋国際は次世代の数学研究に寄与する継続的な貢献への第1歩をいよいよ踏み出したと云えるでしょう。■